

研究課題番号	4-1804
研究課題名	世界自然遺産のための沖縄・奄美における森林生態系管理手法の開発
研究実施期間	平成 30 年度～令和 3 年度※
研究機関名	森林研究・整備機構
研究代表者名	小高 信彦

※新型コロナウイルスの影響のため、令和 2 年度より延長

1. 委員の指摘及び提言概要

世界自然遺産登録に際し、科学的な知見を提供することで遺産登録に貢献したとして評価される。断片化した老齢林の生息地を連続させるために回廊を設定し大きな生息地としたことは、老齢林に依存する絶滅危惧種の保全上、高く評価できる。個々の研究成果が優れており、とりわけオキナワトゲネズミのデータが顕著である。査読論文の数や国民との対話の件数なども多く、高く評価できる。世界遺産の価値を守るために、遺産区域の森林保全と周辺地域の森林管理に本研究の成果が活用されることを期待する。奄美・沖縄の世界自然遺産の顕著な普遍的価値は生物多様性だが、生態系の視点からも、ダムの取り扱いが宿題として残っていることを、今後のモニタリングと評価に配慮してほしい。

2. 採点結果

評価ランク：S